

荒川浸水想定概要

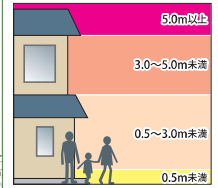
この浸水図は、荒川流域において想定しうる最大規模の降雨によって、荒川のいずれかの場所が氾濫した場合の最大浸水深です。
 実際の洪水発生時とは想定浸水深が異なる場合や、浸水が想定されていない区域も浸水する場合があります。

荒川が氾濫した場合

凡例

- ① 水害時避難施設
- ② 早期立退き避難の検討が必要な区域にある水害時避難施設
(水害時避難施設一覧はP35~38を参照)
注意：水害時避難施設には、浸水や避難者の状況により避難施設が開設されず
- ◎ 区役所
- ⊗ 警察署・交番等
- ⊕ 消防署・分署等
- 区境
- 主要な道路
- 鉄道（地上部分）
- - - 鉄道（地下部分）

- #### 想定される最大浸水深
- 5m以上
 - 3m以上~5m未満
 - 0.5m以上~3m未満
 - 0.5m未満



早期立退き避難の検討が必要な区域
 2階建ての建物が水没するほどの浸水深や、木造家屋等が倒壊するような流速になる等の場合があり、早期の立退き避難の検討が必要になる区域。

避難の方向
 浸水しない地域への避難の方向を示しています。

- アンダーパス等の浸水しやすい道路
- 地下施設
- 河川等の水域
- 河川敷



『荒川水系荒川洪水浸水想定区域図』
 ■浸水想定作成主体：
 国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所
 国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所
 (平成28年5月30日)
 ■想定降雨規模：
 荒川流域の72時間総雨量632mm
 ■対象となる洪水予報河川：
 荒川水系荒川(河口~埼玉県深谷市・寄居町)

